



新春企画展

横溝コレクション

馬！うま！午！



ています。生涯を通じて馬とのかかわりを持ち続けた方でした。

故・横溝さんから
寄贈された
馬のコレクション

故・横溝千鶴子氏から寄贈された、馬に関するコレクションを郷土資料館で展示します。

横溝千鶴子氏(1919~2013)は、大磯町の障がい福祉の充実や子育て支援向上のため、町へ多額な寄附を行なうなど大きな功績を残されました。没後、邸宅とともに、邸内に保管されていた馬のコレクションが町に寄贈されました。

コレクションは、千鶴子氏のご主人である精彦氏(1908~1995)によって収集されました。精彦氏は、明治大学馬術部の主将として競技生活を送り、戦後は東京都馬術連盟会長をつとめるなど馬術界に貢献し

目録化された
約1000点を
展示します

コレクションの内容は、馬に関わる古い文献や雑誌、馬具、郷土玩具、絵馬、絵画、オブジェ、写真、書、調度品、キーホルダー、メダル、食器などの日用雑器に至るまで実に多種多様です。また、素材も木、藁、紙、鉄、銅、ガラスなどバラエティに富んでいます。現在、郷土資料館で目録化を進めており、およそ1000点の目録化が終わりました。しかし、邸宅内にはまだまだ馬に関係したものが数多く遺されており、最終的には2000点余りが見込まれています。時代

的には精彦氏が馬術競技に没頭していた昭和初期から亡くなるまで、およそ70年間の長期にわたり地道に収集されたものと思われまます。また、自らも馬の絵を描かれており、画幅・陶磁器などの作品が数多く残されているのも特徴です。今回は、すでに目録化を終了した約1000点の展示となります。

邸宅にも
馬のデザイン

木造2階建て、白い外観の邸宅(写真上段左上)にも、随所に馬のデザインが施されています。玄関のガラス戸には馬の絵(写真上段中央)が刻まれており、玄関ホールの吹き抜けは、蹄鉄(ていつ)の形(写真上段右上)をしています。また、いずれも精彦氏の馬に対する熱い思いに込め、千鶴子氏が自ら設計したオリジナルデザインだそうです。その他、居間のシャンデリアが蹄鉄を巧みに組み合わせた形をしていたり、建物の建具や照明器具など至るところに馬のデザインが施されており、精彦氏が馬をこよなく愛していたことがうかがわれます。今回の展示では、建物も写真パネルで紹介

手作り絵馬で
展示に参加
しませんか

会場には、手作りの絵馬を用意しました。絵馬は「ぬり絵」になっていきますので、ぜひ色をぬって展示に参加してください。願い事を書いて飾れば、願いがかなうかも知れません。平成26年の干支(えと)は午年(うまどし)です。新春を言祝ぎ、馬のコレクションを公開します。ぜひご覧下さい。

とき 1月5日(日)~
1月26日(日)

ところ 郷土資料館
企画展示室

入館料 無料

会期中休館日
1月6日(月)・14日(火)・20日(月)

郷土資料館
☎(61)4700